

トークイベント
「鎌倉の新しい拠点“ふみくら”を共に創る」
開催レポート

1 日時・会場

令和5年8月27日（日）14時00分～16時00分
鎌倉商工会議所会館地下ホール（鎌倉市御成町17-29）

2 参加者

鎌倉市内に在住、在勤、在学、又は鎌倉市のまちづくりに興味のある方
49名

3 内容

現在鎌倉市役所がある場所は将来、図書館を中心とした複合施設として活用する計画を進めています。全国各地でさまざまな場づくりを行ってきたゲストに、これまでの実践のお話を聞き、「ひらいて むすんで 知恵うむ “ふみくら（文庫）”」をビジョンに掲げる新たな施設の未来やこれからの鎌倉、まちづくりについて、共に考えるトークイベントを開催しました。

4 パネリスト

田中元子 氏（株式会社グランドレベル代表取締役社長）

“1階づくりはまちづくり”をモットーに、2016年（株）グランドレベルを設立。空間・施設・まちづくりのコンサルティングやプロデュースなどを全国で手がける。「喫茶ランドリー」（墨田区）でグッドデザイン賞特別賞受賞。2022年内閣府地方創生推進アドバイザー。

長岡勉 氏（POINT 代表取締役）

建築家・デザイナー。1999年 POINT 設立。プロダクトから建築まで幅広くデザインを手がける。2020年より VUILD のメンバーとしても活動。「絵と言葉のライブラリーミッカ」（葛飾区）でグッドデザイン賞受賞。JCD アワード金賞ほか受賞多数。

比留間彰（鎌倉市副市長）

1984年鎌倉市役所入庁後、古都保存・都市計画行政に携わる。2014年から共生共創部長として、総合計画、SDGs、地方創生、スマートシティ、公民連携、公共施設再編などに取り組む。2022年から現職。



田中元子氏 Motoko Tanaka



長岡勉氏 Ben Nagaoka



比留間彰 Akira Hiruma

4 当日の様子

(1) パネリストによる事例を交えたトーク



(2) 会場を交えたトークセッション



5 トークイベントから得られた意見や想い

- ・10代以下から70代以上まで幅広い年代の方に参加いただきました。
 - ・パネリストからは、「目的が違う人が好きに過ごせ、一人ひとりがやりたいことを実現できる場所の重要性」、「多くの人はきっかけさえあれば話したいことがたくさんある。属性の違う出会うことのない人と話すのはとても面白い」といった示唆がありました。
 - ・パネリストによるトークを受けて会場からは、「完成後も利用者がしたいことを取り入れて、未来に向かって進化していける形が望ましいのでは」「話し合いの場として誰でも参加できる、みんなでお茶を持ち寄っておしゃべりをする、そういう話し合いの場ができるといい」といった意見がありました。
 - ・他にも以下のような意見があげられました。
- ・市役所、市民や関係者が関わり合い、どんな考えをもっているのか、伺える機会があるとよい。
 - ・計画中也、施設開館後もコミュニケーションを継続して、共に話しができる、行き違いないと思えるとよい。
 - ・「鎌倉ならでは」とらわれない（市民がやりたいと思ったことが集まれば結果的に鎌倉らしいものになるはず。）
 - ・良い場づくりは「主客一如」。ホストとゲストに分けて考えるのではなく、ホストも楽しみ、ゲストも作り手になれるような混ざり合った関係性が良い。行政と市民の関係性が融解した状態を実現できたら素晴らしいと感じた。
 - ・居場所づくりも、自分が居心地が良いと思える空間が大切で、ふみくらしもそうならいいと思った。

6 アンケート結果

- ・開催後に実施したアンケートでは、『本イベントでまちづくり・市庁舎現在地の利活用について考えるきっかけになりましたか?』の問いに、約 85%の方が「なった」と回答いただくなど、まちづくりについて考えていただくきっかけとなりました。